

# Vol.03 ドボジョの本音!



一般社団法人 会長  
土木技術者女性の会 牛山 育子さん

株式会社アイサスは土木技術者女性の会サポーターとして、土木の仕事に携わる土木系女子「ドボジョ」を応援しています。今回は一般社団法人 土木技術者女性の会の牛山さんの本音にせまります!

## “女性だから”注目するのではなく その人個人に目を向けてほしい

高校生の時、将来は「ものをつくる仕事」に就きたいと思いました。初めは建築をやりたいと思っていましたが、いろいろあって、土木工学科に進学しました。

土木業界で働く中できつかったこともたくさんありましたが、やりがいもたくさんあります。

現場に出ると、女性用どころかそもそも1つもトイレがなくて、車を出してもらってコンビニやパチンコ店に駆け込んだこともありました。また、私が現場に出はじめた25年くらい前だと女性用サイズの作業着やゴム長がなかったの、男性用サイズを工夫して着ていました。今ではほとんどのもので女性用サイズがありますので、快適に働けると思います。

やりがいを感じたことの一つは、**自分のつくった道路が地図に載ったとき**です。年度末になると、その年にできた道路の線を管内図に入れるんですが、自分が関わって、やっと開通した道路の線を書き入れる作業をしたんです。わずか800mほどのバイパス道路でしたが、自分がつくったと思うと50,000分の1の**管内図に数ミリ線を引くだけでもすごく感激しました**。

最近、新聞やニュースで女子技術者の活躍が取り上げられることがあるかと思いますが。女性が注目されることは、その分野を知ってもらうきっかけにもなるので決して悪いことではありませんが、「女性だから」という理由で注目されるのは**少し違和感がありますね。女性という点ではなくて、その人個人を見てほしいと思っています**。

女性が20人いたとして、皆が同じことを考え、同じ能力を持ち、同じものをつくるなんて誰も思いませんよね。この業界は、男性の数が多く、「男性だから」という考え方はしないのに、女性だと「女性だから」と一括りにするのはおかしいということに気付いてほしいと思います。

最近、女性活躍推進の後押しもあって、様々な会社が女性を積極的に採用しようとしています。会社で**女性を採用した後どう育てていくか、将来のことも考えてもらいたいと思っています。ゆくゆくは管理職まで育てたいとか、そこまで考えておくことが重要**と感じます。能力のある人となない人、どちらの人と一緒に仕事がしたいかといったら、誰だって能力のある人のほうがいいですよね?**女性だから管理職はちょっと、と決めつけないで、男性と同じく、女性もその能力を引き出すように育ててほしい**と思います。

これから就職をする皆さんは職業を選ぶとき将来何がしたか、どういう風になりたいかをしっかり考えて後悔のないように決めてほしい。すでに土木業界に就職された若い方は、これからどうなりたいかを考えてみてください。例えば現場の所長になりたいとか、自分でコンサルを立ち上げたいとか。将来の働き方にも影響するのでこういったキャリアプランや目標をもつことが大切です。

私は都市計画の仕事がやりたかったのですが、役所はいろんなことを経験させようとするところなので、なかなか好きなことをさせてもらえませんでした。それでも何回もやりたいと言い続けていたら17年経ってから希望が叶いました。希望が叶った時は誰にも負けないぞと思って仕事をしていたので、いまだにその時の知識はちゃんと残っています。これだけは誰にも負けないという強みを持てるように、仕事に取り組んでもらえればときと長く続けられます。もし、悩んだら、その時は周りの人に相談してみてください。相談する人が周りにいないという人は、我々のような会を頼ることも考えてみてはどうでしょうか。いろいろな土木の職種の先輩がいっぱい在籍していますよ。

